



Title	経験キャリアマップの活用方法
Author(s)	松尾, 睦
Citation	Discussion Paper, Series B, 135, 1-3
Issue Date	2015-04
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/58317
Type	departmental bulletin paper
File Information	DPB135.pdf



Discussion Paper, Series B, No.2015-135

経験キャリアマップの活用方法

松尾 睦

2015 年 4 月

北海道大学大学院経済学研究科

060-0809 札幌市北区北 9 条西 7 丁目

経験キャリアマップの活用方法

北海道大学経済学研究科・松尾睦

1. 目的

経験キャリアマップは、これまでの職業人生を振り返り、自身がどのような経験を積み、何を学んできたかを確認するためのツールです。このマップを作成する目的は二つあります。第一に、自身の強みを把握するとともに、今後どのような経験を積むべきかを考えることです。第二に、職場において各自の経験キャリアマップを発表・共有することで、お互いの理解を深め、個人として職場として、これから取り組むべき活動について話し合うことです。

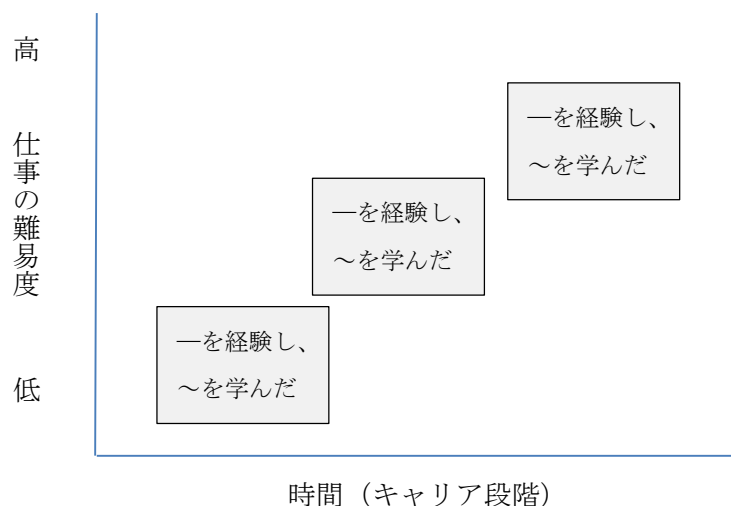
記入にあたっては、『成長する管理職：優れたマネジャーはいかに経験から学んでいるのか』（松尾睦著、東洋経済新報社）の 5 章「マネジャー成長の事例」を読み、図表 5-1、図表 5-2（次ページ）を参考にして経験キャリアマップを作成して下さい。

2. マップの作成方法

マップの縦軸は、仕事の難易度、横軸は時間（キャリア段階）を表わしています。みなさんの成長を促したと思われる経験を思い出し、四角に囲んで簡潔にその内容を書いて下さい。

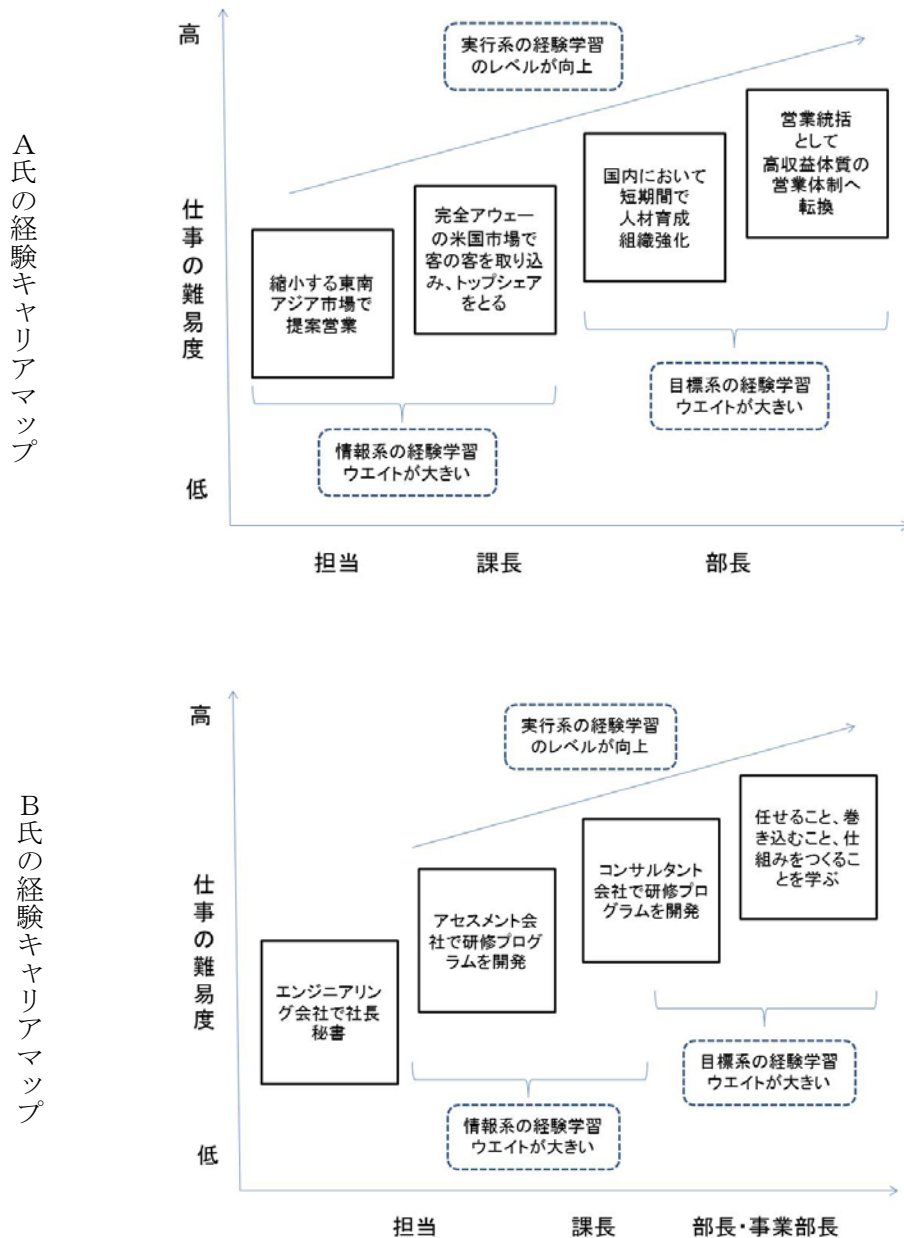
横軸の時間幅（キャリア段階）については、各自で設定していただいて構いません。例えば、組織に入って 15 年目の方であれば「1～5 年目、6～10 年目、11 年目以降」、10 年目の方であれば「1～3 年目、4～6 年目、7～10 年目」という設定で結構です。

縦軸の仕事の難易度については、「時間や資金が限られていた」、「高度なスキルが要求された」、「誰もやったことがない仕事だった」、「大きなプレッシャーがあった」など、さまざまな基準があると思いますが、それらを総合して御自身の主観で判断してください。



3. 経験キャリアマップの例

『成長する管理職』（松尾睦著、東洋経済新報社）の5章「マネジャー成長の事例」では、「製造企業の営業マネジャーA氏の事例」と「コンサルティング企業の女性マネジャーB氏の事例」を紹介し、それぞれの経験キャリアマップを以下のように提示しています。このマップを参考に、みなさんの経験キャリアマップを作成してください。



注：「目標系」「情報系」「実行系」の経験学習については『成長する管理職』第3章で説明しています。

4. 経験キャリアマップのフォーマット

以下に経験キャリアマップのフォーマットを示しますので、自由にお使い下さい。

